

## 目 次

巻頭言 「小児のCT被曝」と社会現象	藤岡 陸久	1
<b>特集 1</b> 第14回年次大会「高橋信次記念講演とシンポジウム」		
ごあいさつ	古賀 佑彦	4
教育講演 最近の放射線治療の展望と課題	井上 俊彦	5
記念講演 放射線防護から見た21世紀の放射線治療	平岡 真寛	11
記念シンポジウム「密封小線源治療における放射線安全管理」		
密封小線源の現状と課題	土器屋卓志	16
密封小線源治療用線源の安全管理	広川 祐	19
患者と医療従事者の安全管理 密封小線源治療の安全対策(医師の立場から)	西村 哲夫	22
患者と医療従事者の安全管理(診療放射線技師側から)	保科 正夫	26
患者と医療従事者の安全管理(看護師の立場から)	祖父江由紀子	31
線源供給側から見た安全管理	青木 正	33
記念シンポジウムの座長印象記	阿部 由直	37
座長印象記	西尾 正道	39
<b>特集 2</b> 第18回「医療放射線の安全利用研究会」フォーラム		
テーマ：なぜ日本のX線診断の被ばくが高い—安心できるX線診断を求めて—		
第18回フォーラム開催と概要について	菊池 透	41
セッションⅠ：CT検査を中心に考える		
1. CT検査の現状と問題点—臨床医の立場から—	片田 和廣	45
2. CT検査における医療被曝の問題点	佐々木武仁	49
セッションⅡ：X線診断の医療被ばくで、がんのリスクを言う場合について考える		
1. 放射線の低線量影響研究の立場から	酒井 一夫	53
2. メディアの立場から	中島久美子	55
3. 放射線の低量被ばく防護の立場から	金子 正人	58
セッションⅢ：医療被ばくの防護を考える		
指定発言1 日本医学放射線学会の対応	古賀 佑彦	61
指定発言2 日本放射線技術学会の対応	栗井 一夫	63
指定発言3 日本アイソトープ協会の対応	長瀧 重信	65
<b>話題・ニュース</b>		
JRC2004(横浜)の医療放射線防護関連の印象記	松下 淳一	67
米国における小線源治療の事故報告システム；原子力規制委員会(NRC)の事故報告システムから今後の我が国の事故報告のあり方を考える	西村 哲夫	70
<b>加盟学協会の活動状況</b>		
日本放射線腫瘍学会	山下 孝	74
<b>図書紹介</b>		
IVRの臨床と被ばく防護	栗井 一夫	76
ICRP Publication 87「CTにおける患者線量の管理」	富樫 厚彦	77
ICRU Report 70, Image Quality in Chest Radiography	鈴木 昇一	78
トンデモ科学の見破り方	田中 淳司	80
<b>お知らせ</b>		81
<b>協議会から</b>		
行事案内		83
「IVR等に伴う放射線皮膚障害とその防護対策検討会」における検討結果の報告について		86
平成16年度・17年度委員名簿		91
入会のご案内・入会申込書・変更届		94
出版物注文書		97
<b>編集後記</b>		98